

課題設定による先導的人文学・社会科学研究推進事業（学術知共創プログラム）  
研究概要

課題

将来の人口動態を見据えた社会・人間の在り方

研究テーマ名

コロナ危機から視る政策形成過程における専門家のあり方

責任機関

国立大学法人大阪大学

研究実施期間

令和5年7月～令和11年3月

研究プロジェクトチームの体制

◆総括・マネジメント

研究代表者等の別	氏名	所属機関・部局・職名
研究代表者 (総括)	大竹 文雄	大阪大学・感染症総合教育研究拠点・ 特任教授(常勤)
研究分担者 (総括補佐、研究企画・PM)	小出 直史	大阪大学・社会ソリューションイニシ アティブ・特任准教授(常勤)
研究参画者 (指導助言)	田口 茂	北海道大学大学院文学研究科・教授

◆政策形成過程グループ

研究代表者等の別	氏名	所属機関・部局・職名
研究分担者 (グループリーダー)	高久 玲音	一橋大学国際公共政策大学院・准教 授
研究分担者	仲田 泰祐	東京大学大学院経済学研究科・准教 授
研究分担者	待鳥 聡史	京都大学大学院法学研究科・教授
研究分担者	児玉 聡	京都大学大学院文学研究科・教授
研究参画者	忽那 賢志	大阪大学大学院医学系研究科・教授
研究参画者	藤井 睦子	大阪教育大学 副学長・健康安全系 教授
研究参画者	室井 延之	神戸市立医療センター中央市民病 院・薬剤部長

研究参画者	柴谷 直樹	神戸市立医療センター中央市民病院・薬剤部主査
-------	-------	------------------------

◆市民に向けた情報発信グループ

研究代表者等の別	氏名	所属機関・部局・職名
研究代表者 (グループリーダー*) *グループリーダーは順次移管	大竹 文雄	大阪大学・感染症総合教育研究拠点・特任教授(常勤)
研究分担者	三浦 麻子	大阪大学大学院人間科学研究科・教授
研究分担者	仲田 泰祐	東京大学大学院経済学研究科・准教授
研究参画者	明和 政子	京都大学大学院教育学研究科・教授
研究参画者	磯野 真穂	独立研究者
研究参画者	武見 綾子	東京大学先端科学技術研究センター・准教授

◆出生率低下グループ

研究代表者等の別	氏名	所属機関・部局・職名
研究代表者 (グループリーダー*) *グループリーダーは順次移管	大竹 文雄	大阪大学・感染症総合教育研究拠点・特任教授(常勤)
研究分担者	小原 美紀	大阪大学大学院国際公共政策研究科・教授
研究分担者	仲田 泰祐	東京大学大学院経済学研究科・准教授
研究参画者	明和 政子	京都大学大学院教育学研究科・教授
研究参画者	千葉 安佐子	東京財団政策研究所・研究員
研究参画者	武見 綾子	東京大学先端科学技術研究センター・准教授

**配分（予定）額**

（単位：円）

令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
18,590,000円	18,590,000円	18,590,000円	18,590,000円
令和9年度	令和10年度		
18,590,000円	18,590,000円		

※令和6年度・令和7年度・令和8年度・令和9年度・令和10年度については予定額

**研究目的の概要**

新型コロナウイルス感染症(コロナ危機)は人々の日常を大きく変え、社会経済に大きな影響を与えた。新型コロナ感染症対策は、人権や社会経済活動に制限を加えるものであり、感染症の専門家だけの専門知では対応できないものであった。メンタルヘルスを含む他の健康面への影響、社会・経済活動や子どもの発達や教育への影響等、様々な側面を同時に考慮すべきだった。どの要素を重視するのかは、価値観に依存する。価値観が異なるもとでの集団的意思決定は、人文社会科学の研究領域である。

コロナ危機を経て、日本の出生数は大きく減少し、人口減少が加速することになったのは、新型コロナ対策に、専門知が十分に活かされなかった可能性が挙げられる。本研究では、コロナ危機の振り返りを要素素材として、1) 政策形成過程における専門家のあり方、2) コロナ危機を経て加速した社会的課題を取り上げて、将来の人口動態を見据えた社会・人間の在り方を、人文学・社会科学の研究者を中心に共創的アプローチで検討する。

**研究計画の概要**

本研究は、共創的人文社会科学の新たな夜明けに向け、初年度は学術知共創プロジェクトのワークショップに参加した研究者・実務者を中心に多次元共創型ネットワーク形成に向けた基盤を構築する。具体的には、研究手法で述べた、素材・展開・テーマ別パッケージ・プログラム形成を基本骨格として実践を開始する。具体的な実践は、先に実施されてきた文部科学省委託事業「人文学・社会科学を軸とした学術知共創プロジェクト」にて、展開の実験的な試験運用を企画・設計・運用した経験に加え、文系・理系相互の経験を有する小出がPMとして、研究代表者・グループリーダー・分担者・参画者等との行き来を担い、協調して素材収集や展開の実践を担う。

また、展開の設計思想として、テーマと素材作成過程における主要論点に対して、人文社会系・自然科学系のアカデミア研究者、アカデミア所属ではない専門家、実践者、ステークホルダーへ可能な限り幅広くアプローチする。特に、特定専門領域では得難い示唆や表現しにくい事柄などの高度に専門化された学術文化から一歩外に足元を向ける試みを実践する。